

新国際高校(仮称)設置に係る検討委員会報告書(概要)

第1章 新国際高校(仮称)の設置検討の背景

1 我が国における国際化の進展

- 世界都市・東京においては、広い視野をもち、国境を越えて相互に理解し合うことの必要性が高まるとともに、国際社会に生きる日本人としての自覚を深めることが一層重要な課題となっている。
- 多くの企業が海外に事業展開しており、企業のグローバル人材に対するニーズは今後も高まっていくと考えられる。
- 国際社会で活躍する人材の育成は喫緊の課題であることから、高い語学力や豊かな国際感覚等を育成するための様々な手法を、児童・生徒の状況や地域事情を見ながら、多様に展開していくことが必要である。

2 東京都教育委員会の国際理解教育への取組

- 「東京都教育ビジョン(第3次)」(平成28年4月一部改訂) 世界で活躍できる人材を育成するための3つの主要施策
- 「東京都英語教育戦略会議」報告書(平成28年9月報告) 都内公立学校における東京都独自の英語教育を推進するための中長期的方向性と28の具体的方策を提言

3 「都立高校改革推進計画・新実施計画」における位置付け

新国際高校(仮称)の設置検討

国際高校の入学選抜の応募倍率が高い状況を踏まえ、日本人としての自覚と誇りを備え、世界に通用する人材を育成するとともに、在京外国人等の教育ニーズにも応える都立高校として、都心部に帰国生徒や外国人生徒を受け入れ国際色豊かな学習環境を整備した新国際高校(仮称)の設置を検討します。

(平成28年2月「都立高校改革推進計画・新実施計画」抜粋)

第2章 設置の基本的枠組

1 教育理念

国際社会において、地球規模の問題解決に積極的に取り組み、他者と協調しながら、より良い未来を構築する人材を育成する。

2 育成すべき生徒像

- 豊かな教養と論理的思考力をもち、自ら課題を見付け、主体的に分析・判断・行動し、より良く解決することができる生徒
- 自己のアイデンティティを確立させるとともに、多様な価値観を受容しながら、新たな価値を見いだすことができる生徒
- 高いコミュニケーション能力を有し、他者との信頼関係を構築しながら、協力して課題解決に取り組むことができる生徒

3 学科

- 「国際教養学科(仮称)」のみの単一学科
- 学科の中に理数教養系(仮称)と語学教養系(仮称)を設置
 - ・ 理数教養系 … 専門教科「理数」の設定
 - ・ 語学教養系 … 第二外国語の単位数を多く設定
- 理数教養系と語学教養系それぞれに海外進学コースを設置

4 学校規模

各学年は6学級規模(理数教養系及び語学教養系を各3学級)を想定

5 海外帰国生徒・在京外国人生徒の受入れ

一般枠の生徒とは別に、特別枠を設置(募集人数等は今後検討)

6 設置場所

インターナショナル・スクール等との交流や、大学・外資系企業との連携等、国際交流を容易に行うことができ、国際色豊かな教育環境を整備できる立地が望ましい。

7 開校予定年度

「都立高校改革推進計画・新実施計画」を踏まえて、できるだけ早期の開校を目指す。

第3章 教育課程

1 教育課程編成の基本的な考え方

- 様々な分野で国際的に活躍できる人材を育成するため、多様な進路選択が可能となる教育課程を編成する。
- 幅広い知識と深い教養を習得するため、哲学、地域経済等を学び、思考の基盤を形づくるとともに、豊かな人間性を育成する。
- 様々な体験、探究活動等を通して、日本の歴史や文化への理解を深めるとともに、異文化を理解し尊重する態度、国際的な課題に対峙する姿勢、意欲を育む。
- 自分の考えを整理し相手に伝えることができる、論理的思考力・表現力、語学力をあらゆる機会に育成するとともに、多様な意見を尊重しつつ、議論を深め合うことで、様々な人々と関係を構築できるコミュニケーション能力を育成する。

2 リベラル・アーツ教育の充実

国際的に活躍できる人材となるためには、理系・文系のような分類に関係なく、幅広く豊かな教養をもつことが重要であり、以下のような学習を実施していく必要がある。

- (1) 理科や数学の必修科目の充実
- (2) 「第二外国語」(フランス語、中国語、スペイン語等)の必修
- (3) 「芸術」における教育内容の充実
芸術教科と他教科を融合した新たな取組等の実施
- (4) 「情報」における教育内容の充実
ビッグデータや人工知能、プログラミング言語等の最新技術を取り扱う授業の実施及び英語による授業の検討、「数学」・「理科」等他教科におけるビッグデータや人工知能を活用した授業の工夫
- (5) 日本と他国との関係性等を学ぶ「異文化理解」の英語による学習
- (6) 古典的作品を学習する機会を設定
海外の書物等は、英語等の原文で講読

- (7) 最先端の学問や哲学等の幅広い分野を取り扱う土曜講座の開講
- (8) 大規模公開オンライン講座(MOOC:国内外の大学の講義を無料で受講することができる取組)を活用した学習
- (9) 日本の伝統・文化の体験学習

3 論理的思考力等を育成する探究的な学習の充実

論理的思考力や批判的思考力等を高めるとともに、コミュニケーション能力を向上させ、自らの意思により行動し実行できる生徒を育てるため、以下のような探究的な学習を充実させていく必要がある。

- (1) 論理的思考力等の基盤となる言語能力の育成
- (2) 「質問力」の向上
- (3) 国際バカロレアの手法を参考にした学習の実施
- (4) 海外教育研究機関等と連携した合同授業の実施

4 国際機関や外資系企業等と連携した体験活動の充実

国際機関や外資系企業、海外進出企業等と連携し、世界を舞台に活躍している人材の講演や就業体験の機会を意図的・計画的に設定することで、国際社会で活躍しようとする意欲を培っていく必要がある。

- (1) 国際機関等と連携した海外スタディツアー(仮称)の実施
- (2) トップリーダー等から学ぶ機会の設定

5 国際色豊かな教育環境の整備

- 入学選抜における募集については、海外帰国・在京外国人生徒の特別枠を設定する。
- 国際理解教育や英語等の語学力を向上させるための研修等により、教員を育成する必要がある。
- オンライン講座やテレビ会議システム等 ICT 機器の充実を図り、海外と容易に交流できる環境を整備する。
- 次世代リーダー育成道場等海外留学制度の活用を推奨する。
- 海外からの留学生等を積極的に受け入れる。